

科目コード	N411
授業科目名	看護学統合実習
授業科目名(英文)	Integrated Clinical Practice in Nursing
講義室等	実習施設
学科	看護学科
対象学年	4年
開講学期	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	2
時間数	90
該当ディプロマ	◎看DP-3
該当コンピテンス	◎看CP-5、○看CP-4、△看CP-9
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	阿南あゆみ
授業の概要	<p>看護学統合実習は、これまでに習得した知識・技術を活用し、医療・産業保健の包括的な視点から看護の質を管理、改善する力を身につける実習である。学生自ら臨地実習指導者と、実習目標の確認・スケジュール調整を行い、さらに各自の看護実践課題を抽出し解決・改善に向けた方法を模索することで、卒業後スムーズに看護実践の場に適応することを目的とする。</p> <p>実習形態；複数受け持ち・看護管理実習，産業看護学実習（保健師選択者）</p>
授業の到達目標 (学修効果)	<p>1) 実習計画を立案することができる</p> <p>(1) 病棟・事業所ごとに、各グループの実習目標を明確にすることができる</p> <p>(2) 実習目標を達成するための学習を積極的に行うことができる</p> <p>(3) 臨地実習指導者と、実習内容や実習スケジュールを具体的に計画・調整することができる</p> <p>(4) 実習メンバーと協力して学習を進めることができる</p> <p>2) 複数受け持ち・看護管理実習，産業看護学実習の目標を明確にすることができる</p> <p>3) カンファレンスや学習発表会を通じて学びを共有し、学習のまとめを行うことができる</p> <p>(1) 他者の意見や助言を傾聴し、自己の看護実践を振り返ることができる</p> <p>(2) 学習成果を論理的にまとめ、グループ毎に発表することができる</p> <p>(3) 自己の将来に向けての課題や方向性を明確にすることができる</p>
予習復習の所要時間	実習時間90時間
成績評価方法	各領域における評価（実習への参加の姿勢（20%）、実習記録内容(50%)、計画発表会やまとめの会参加状況(30%))により、総合的に判定する。100点満点中60点以上を合格とする。
教科書	特になし
参考書	他学の統合実習に関する論文など
その他	*詳細については臨地実習要項及び実習の手引きを参照すること。

		実習内容・実習場所	実習の形態	実習担当者
1	第1週目	1日目：各実習領域のオリエンテーション 2～5日目：臨地実習（金曜日；臨地カンファレンス）	臨地実習	阿南あゆみ 立石 和子 岡田なぎさ 内田真優美 古村 沙織 永松 有紀 沖 智子 白石 祈枝 近藤 春香 實崎 美奈 中村 恵美 野元 由美 丸山 泰子 松尾 綾 井上 ちはる 掛田 遥 新川万里子 中谷 淳子 原賀 美紀 仲野 宏子 栗山 知子
2	第2週目	1～3日目：臨地実習 4日目：臨地カンファレンス 5日目：学内カンファレンス	臨地実習	阿南あゆみ 立石 和子 岡田なぎさ 内田真優美 古村 沙織 永松 有紀 沖 智子 白石 祈枝 近藤 春香 實崎 美奈 中村 恵美 野元 由美 丸山 泰子 松尾 綾 井上 ちはる 掛田 遥 新川万里子 中谷 淳子 原賀 美紀 仲野 宏子 栗山 知子